

YAMAHA NEWS NO.70

ヤマハニュース

4

'69 APR.

特集 / 増販に直結したトレール教室

恐怖の砂漠を2000マイル



ヤマハ-L125AT1

高品質を生むヤマハの技術



品質管理



赤トンボから '69ヤマハまで、つねに世界1
の高品質・高性能を目指して努力してきたヤ
マハ。その誇りが、従業員の気持を引き締め
今日も徹底した品質管理がとらぬかれる。ピ
スひとつにも、高性能を守る厳しい監視の目
が光るのだ。

人気集中!

増売に直結するトレール教室

全国各地で、ヤマハトレール教室が爆発的な人気を呼んで行なわれています。

トレール教室で学んだ安全走行の基礎テクニックが、交通安全に大きく役立つばかりでなく、オートバイに乗る新しい楽しさを満喫させるものであるからです。

社会的にも非常に大きな意義をもつこのトレール教室は、新規需要の開拓にもめざましい成果をあげ、ヤマハ・フレンドをそくそくと増やしています。

ここに、あなたのお店をさらに大きくイメージアップする全国各地のトレール教室を紹介し、あなたのお店の参加をお待ちします。



★増販に直結する催し



▲交通整理にバトカーも出動する盛況ぶり。トレール教室はあなたのお店を大きくPRする（東京）



▲よその店のお客さんも喜んで参加。ヤマハトレールに魅せられる（大阪）



▲展示即売会や交通安全無料点検も併催されることもある（九州）

お巡りさんも動員して開催
トレール車などの引合いも活発

【九州支店発】昨年来から好評のもとに行なわれてきたトレール教室は、本年に入っているよよ本格化し、ほとんど各日曜日に開催されるようになってきています。

さる3月9日には、熊本ヤマハ販売佐賀本店、佐賀県鳥栖地区の野中オート、鳥栖ヤマハの両ヤマハ販売店を中心に行なわれましたが、観客整理にお巡りさんまで出動するという盛況ぶりでした。

この日の会場は鳥栖と長崎とを結ぶ国道34号線沿いの鳥栖近郊で、競馬場の建設予定地となっている絶好のところ。参加者は30名を限度として打ち切り、まず支店の大場社員が教室内容のアウトラインを説明し、ブレーキのかけ方、カーブの曲がり方、乗車姿勢など一通りの基本テクニックを講習したあと、不整地のトレール・ライドイング、ジャンプの実技指導を行ない、最後にアトラクションとして、遅乗り、パン喰い競争を実施、なかなか雰囲気うちに次の開催を約束して散会としました。

またこの日のトレール教室では展示即売会を併催し、トレール車、スポーツ車に活発な引合いをみて、こんごの増販に結びつく大きな成果をのこしたことが特記されます。これは熊本ヤマハ販売佐賀本店からのDT1、支店からのAT1、F5-Cなどの試乗車の提供がこの日の参加者にヤマハトレールシリーズの優秀な性能をつよく印象づけたことによります。

とにかく、この日のトレール教室プラス展示即売会は国道沿いに通行中の車を次々と足止めさせるほどの人気で大成功でした。

テクニックの習得に人気
多彩な催し物でPR効果あがる

【四国支店発】ことしは思わぬ降雪に悩まされた四国地方ですが、トレール教室の人気は非常に高いものがあり、シーズンに先がけて2月9日には香川県高松地区の常磐自動車株



▲女性ライダーもメイトで参加。だれでも走れて安全なトレール教室だからだ（仙台）



▲バン喰い競争、風船わりゲームなど楽しい競技もおり込める（九州）



▲澄んだ空気のもと、楽しさいっぱいのトレール教室（四国）



▲警察官もトレール教室の趣旨に感心（東京）

株式会社主催のもとに150名の参加者をつめて行なわれています。

この日のトレール教室は、こんこの開催をいかに運営していくか、そのテストケースに実施されたものでありますが、予期以上に大きな成果をあげることができたことから、常磐自動車さんでは、これからは販売店さんを主体とし、各プロックごとにトレール教室を開催していくことにしています。

テストケースということから、この日のトレール教室の内容は多彩で、テクニク講座をはじめメカニク講座、交通安全講座、アトラクションなどを折りこみ、さらに全参加者をA、B、Cの三段階に分け、クラス別による模擬レースも行ないました。

講師にはベテラン・ライダーとしてその名も高い荒井市次氏を、そしてアシスタント役にモトクロス・ライダーの上野選手を迎え、ブレイキのかけ方から逆ハンドルの高等テクニクに至るまで細かな指導を受け、大好評を得ました。

なお、このトレール教室ではヤマハオートバイ、キットパーツ、用品の展示即売会も併せて行ない、PR面でも大きな成果をあげることができました。

3回シリーズで卒業システム 試乗車の提供でムードは最高

「広島支店発」ヤマハトレール教室は中国地区でも圧倒的な人気をあつめて行なわれています。本格的に動き出したのはこの3月からですが、3月9日ヤマハ島根、3月16日広島営業所、3月21日福山営業所、3月23日ヤマハ島根と着々と進行しております。

3月9日のヤマハ島根地区は、米子市の立脇モーターズ、加納モーターズ、そして木村モーターズ、田中モーターズ、岸本モーターズなど多数のヤマハ販売店さんの積極的な協力のもとに行なわれたもので、会場を日野川の河原に設定し、ここに40名の参加者をつめて盛況のうちに終了しました。

講師には支店の内山サービス主任、地元ライダーの篠原俊夫、立脇モーターズ社長があたり、凹凸道、砂地、砂利地の走破、そしてコーナーワークなどを中心に安全テクニクをマスターしました。

またこの日のトレール教室は3回シリーズ

★安全走行のテクニクを学ぶ



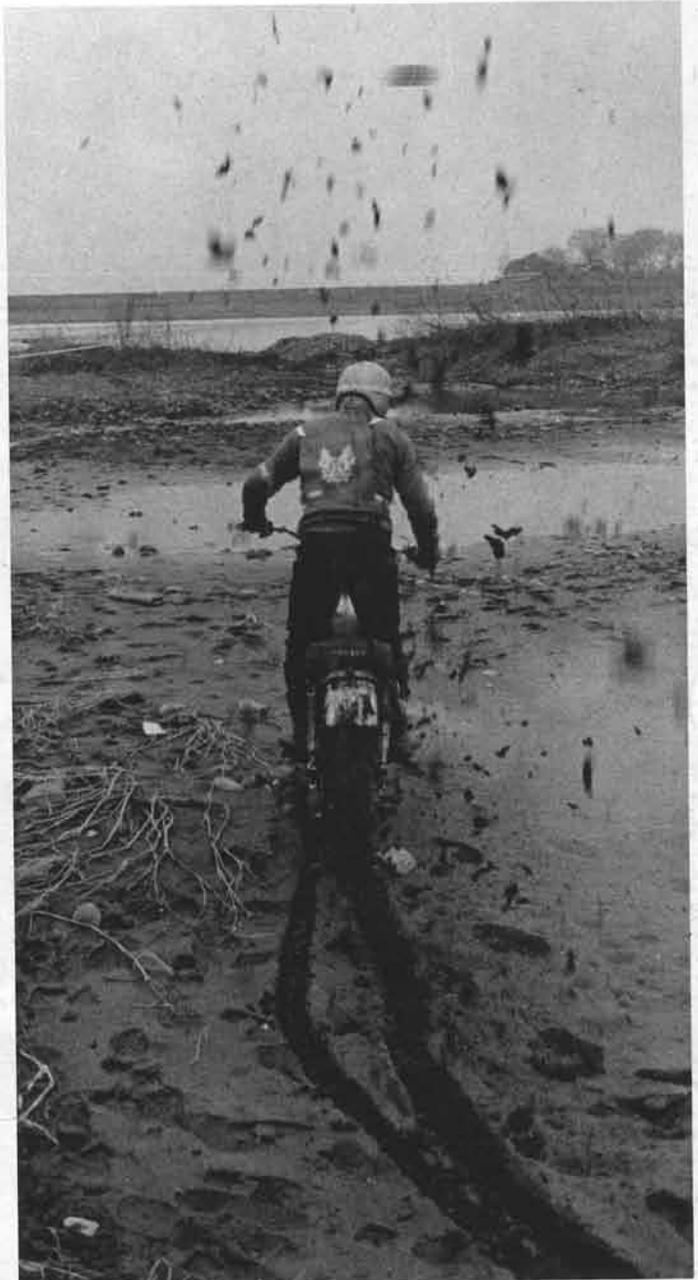
▲バランスのとり方。楽しそうに見えるが、本人は真剣だ(大阪)



▲小さなジャンプ。いざというときに役立つテクニクだ(東京)



▲カーブの曲り方のスタイルもいろいろある。これはリーン・アウト(東京)



▲地形や天候など、あらゆる条件に適した走り方をインストラクターが指導(東京)

に分けることとし、次回は4月、5月に分け
て行ない、第一期生の終了というシステムと
なります。

トレール教室と併催して行なわれた展示即
売会のほうも反響は大きく、トレール車、ス
ポーツ車に活発な引合いがありました。試乗
用として提供したDT1、AT1はひっぱり
だこで、こんごの増販に大きな成果をあげ得
るといえます。

それにしても、オートバイを自由に乗りこ
なすテクニクをマスターして、河原を自由
に走りまわる参加者の顔は、喜びと自信とで
みちあふれていた感じで、大成功でした。

好調なすべり出しで意気さかん
転倒のテクニク?までみせる

【大阪支店発】関西地区のトレール教室は2
月からはじまり、次第にその活動分野を広げ
つつあります。

まず2月は、23日に奈良と兵庫において同
時に開催されました。奈良は奈良営業所地区
の特約店、小島産業と、販売店の向井クレ
ー
ジーマーターが主体となつて42名の参加者
が、また兵庫地区は丸八モーター大阪営業
所地区の今井モーター、丸尾モーター、
中央モーター、関商会、東商会のヤマハ販
売店さんが合同で70名の参加者をおつめて盛
大に開催しております。

さらに3月に入って、2日には堺営業所地
区の寺内自転車店さんが38名のお客さまをお
つめて主催し、また16日には藤田商会、損電
ヤマハ会(陰平自転車店、山陽オート、田中
モーター、原サイクルセンター、三村モ
ーター、山村モーター、山本モーターが、
湯口自転車店、竜口自動車)のみなさんが42
名のお客さまを動員して開催しています。

教室の内容は基本乗車姿勢、ブレーキ、平
均台、スラローム、ジャンプなどで、参加者
の要請で転倒の実技?もみせて、危険防止の
手段に有効なテクニクを披露したこともあり
ます。講師は荒井市次氏をはじめ、三友昭
行、山下理一、佐藤正の各氏で、いずれもそ
うそうたるライダーです。

オートバイ・シーズンをむかえて、関西地
区のトレール教室はこれからもさらに活動分
野を広げて、増売にも大きな成果をもたらす
ものと期待されています。

★砂地を沼地を、そして雪の中を



▲どんな路面も安全に走れるテクニックを学ぶ。まず砂の中を！(名古屋)



▲草の中を！トレールライディングの喜びを求めて走る(名古屋)



▲強いトルクを生かして沼の中を正確に走る(東京)



▲やがて、砂利道もバランスよく走れるようになる(東京)



▲ときには雪の中を！北国ではふだんの安全走行につながるからだ(東北)

トレール教室で安全運転
DT1など10台を即売

〔名古屋支店発〕中部地区におけるトレール教室の開催は順調に展開しており、多大な成果をあげております。

いままでは岐阜の恵那地区、静岡の浜松地区、同じく静岡の清水地区で大規模なトレール教室を実施してきていますが、シーズンむかえてさらに本格化し、日曜日はトレール教室の開催が当然のような勢いです。

恵那地区でのトレール教室は、林モーターズ、佐藤モーターズ、矢作モーターズのヤマハ販売店さんが力を合わせて、恵那峡、木の実牧場、鬼岩温泉と三回の教程をすませてトレール教室卒業の第一期生をおくりだしています。

また清水地区では地元富士商會、村越輪業、三光モーターズのヤマハ販売店さんの合同主催で、一、二回を景勝地・三保の松原で行ない、4月20日の安倍川での開催で卒業式をむかえるばかりです。

どの地区のトレール教室でも、受講者となるお客さんはみな熱心にテクニックの習得に努め、非常に喜ばれています。また老若男女を問わず参加してくれています。清水地区で参加した51才の鈴木光太郎さんは、「老い込み防止にオートバイに乗っているが、きょうの講習で基礎的なテクニックが多いか大変なものであるかを知った。せひ多くの若い人たちに参加してもらいたい、みんな安全運転の向上に役立たせたい」と、トレール教室開催の社会的意義の大きさを訴えていました。

教室の内容はその地形に応じていろいろと変化をつけて行ないますが、一般走行の基本乗車姿勢、ニーグリップの効用性、ブレーキのかけ方、カーブの曲がり方など、基本テクニックの普及につとめています。

とにかく、トレール教室ではオートバイのスピードよりも、その軽快な行動性を十分に発揮させることに重点がおかれていますので、だれもが参加でき、安全で、楽しいものとなります。トレール・ライディングでオートバイを自由に乗りこなす楽しさを満喫したお客さんが、その場で新車の購入をきめた例もめずらしくありません。

清水地区ではDT1、AT1、DS6など

★たのもししい指導員のもとに



▲安全運転には心身のコンディションが必要。走行前の準備体操も入念に(東京)



▲「アゴヒモをかけないと、ヘルメットの効果は半減」こまかい点も注意(東京)



▲インストラクター(指導員)を先導に、安全運転のテクニックをまなぶ(東京)



▲車座になって、インストラクターのアドバイスを聞く(四国)



▲講義が終わって、トレール走行の実施指導に移る(東京)

10台ちかくが即売されています。このことからトレール教室の人気の高さに驚かす。あるかが分かります。

あらゆる分野で好結果

中古車処理の新方法として利用

〔東京支店発〕支店管内におけるトレール教室は、昨年後半より積極的にすすめられ、現在は各地で軌道にのり、多くのファンを獲得しております。

長野県飯田地区では、飯田モーターさんの協力のもとに二十数店におよぶヤマハ販売店さんが指導的な役割を果し、100名を超えるお客さんをおためて好成績をあげました。

このトレール教室の内容は、①交通安全無料点検キャンペーン、②オブショナルパーツと用品類の展示、③トレール教室の三本建てで、この4月には2回目のトレール教室を実施することになっています。

つい最近も、ヤマハ群馬が利根川域を利用してトレール教室を開催、多くのヤマハ販売店さんの積極的な応援をうけて、70名を超えるお客さまにすぐ役に立つ安全運転のテクニックをマスターしてもらいました。

講師は大月信和氏で、準備体操から沼地走行、ジャンプに至るまで、マン・ツー・マン方式の実技指導が行なわれました。

トレール教室の開催によって、正しい運転知識が普及されることは交通安全にも大きな成果をもたらし、安全を売るヤマハ販売店をより効果的にイメージアップしていきます。また販売店さんとお客さんとの結びつきは、いよいよ密接なものとなり、こんこの増売にも好結果をもたらします。

すでにトレール教室の開催で数々の成果をあげています。そのひとつがトレール、スポーツシリーズの人気の倍増、そして部品、用品類の増売です。また中古車をベースに、トレール仕様で改造するような動きがみられ、中古車の新しい販売方法として検討されています。このように、トレール教室はあらゆる面で大きな成果を生んでいます。

雪をおしのけてスタート

活発化するトレール教室

★指導員も熱心に研修



▲インストラクターたちは、きびしい研修でみずからを鍛える。そして、交通安全の指導者にふさわしい人格と能力を育てていく。



▲オートバイのベテランであるインストラクターたちも、走行のトレーニング



▲メカニックの技術も学ぶ＝（いずれも教室本部にて）

【仙台支店発】春の遅いみちのく東北にあってもトレール教室に対する関心はつよく、まだ寒気のきびしい3月2日、宮城ヤマハ一関営業所地区の久須田輪業さんを主体に、新築移転した小学校跡のグラウンドをコースに参加者25名をあつめて行ないました。

講師をつとめたのは宮城ヤマハの齊藤実、若生正敏の両氏で、半分は雪、半分はぬかるみといった悪コンディションを積極的に利用し、ぬかるみの脱出、ブレーキのかけ方、コーナーワークなど、もつとも基本的なテクニックの実技指導に重点をおいて好評を博しました。

また3月下旬には仙台市の横山輪業商会さんを中心にして、市内のヤマハ販売店さんが合同でトレール教室を開催する予定で、シーズン到来と共ますます活発化していく方向にあります。

シーズン到来をまつて続々開催
予告通知で40名を越える盛況

〔北海道支店発〕北海道においてもトレール教室にかける期待は大きく、3月早々に札幌地区の北海道ヤマハモーターズさんを中心に参加者をつつたところ、40名を越える申込みがあり、市内のヤマハ販売店さんの力強いところがうかがえました。

会場予定地としては札幌近郊のテイネオリンピアが候補にあげられていますが、とりあえず手初めに千歳街道沿いに絶好の地を得て開催することになっています。

また3月下旬には函館の谷口モーターズさんを中心に、名所の大沼公園でトレール教室を開催する準備がすすめられています。このほうは雪のために延期されています。

しかし、本格的なオートバイ・シーズンの到来と共に、トレール教室プラス展示即売会は積極的にもりあげていくことになっています。道内でも多くのロードマスターを生むことになるでしょう。

それと同時にトレール教室をバックにヤマハの一大飛躍が図れるものと準備をすすめている次第です。

新聞 秋重新聞店
TEL (04297) 4701

ヤマハコース



メイトで配達 敏速正確

新 聞の配達とい

えば、寸刻を争ういそがしい仕事ですが、故障が少ないことをはじめ、あらゆる面で信頼のおけるヤマハメイトが、多くの新聞店さんで使われています。

埼玉県飯能市にある秋重新聞店は、店主の秋重友則さんの積極的な経営姿勢が奏効して開店以来二年間で、市内に数カ所の支店を開設するほどの発展ぶりです。「敏速、丁寧、正確」をモットーに、四十五人の従業員が努力しています。

業績の進展にともなう、当然、機動力が重要な要素になってきますが、最初はヤマハメイト以外の車が使われていました。

ところが、市内のヤマハフレンド店・中福商店のたつてのすすめ、メイトを一台だけ入れてみたところ、抜群の働きぶりです。た



経営者の秋重さん（左から2人目）をかこんで、勇さんと従業員の人びと。中央の無帽の人は中福さん

ちまち、本店のヤマハメイトが十一台にふえました。

実際にメイトを使っている人たちの評判も上上です。新聞を配達する時は、一分一秒を争わなければなりません。こんなとき、どこでも始動できるメイトの機構が、たいへん威力を発揮します。

維持費が安いこともメイトの魅力。事実、本店にある十一台のメイトの維持費も、支店でもた使っている三台の他車のそれと、まったく同じだといえます。

このように、メイトの評判がよいのは、中福商店の献身的なアフターサービスがあるからでしょう。

恐怖の砂漠を2000マイル

—ヤマハ80 死のハイウェイをいく—

50ccのメイトから350ccのR3まで、ヤマハオートバイのタフぶりは、すでに定評のあるところですが、命知らずのヤンキーが二人、カリフォルニアのアサン・ガブリエルからメキシコのアリツェまで往復二千マイルを、小さなヤマハ80でみごとこに乗り切りました。二千マイル（約三千二百キロ）という距離も相当なものです。地図をひろげてみるとわかるように、これらのヤマハの走破した区域はたまたの区域ではありません。カリフォルニア、アリゾナ、メキシコにまたがる荒涼とした砂漠地帯がほとんどなのです。

このコースは二百年近くも前、スペイン人のド・アンツアによって、当時のカリフォルニアとメキシコを結ぶ唯一の道として開拓された歴史を持っていますが、往時このコースの走破を試みて中途にたおれ、砂漠に骨を埋めた人は数知れません。

いわば、死のハイウェイ、といった無類の難コースですが、大男のヤンキーライダーと、砂漠縦断の重装備をのせた小さなヤマハは、ほとんどトラブルらしいトラブルを起すことなく、舌を巻くほどのタフぶりで三週間、二千マイルの旅を完了したのでした。

忘れられた地域

この冒険を試みたのは、カリフォルニアのF・テラー、D・ベネットの両君ですが、忘れられた地域、という異名を持つこのアメリカ南西部の砂漠をちよつとはかりあまく見過ぎたようです。

食料・飲料水・寝具・予備ガソリンなど盛り沢山に積み込んだヤマハ80で、勇躍サン・ガブリエルを出発したわけですが、メキシコ国境迄約八百マイルにおよぶ広大、荒涼とした砂漠は、どうしてどうして生やさしいわけがなく、あらゆる試練をライダーとヤマハに加えました。日中しやく熱の気温は、夜になると急激に下り、手ごたえのない砂はヤマハの足をとらえました。果てしなく続く熔岩と岩の砂丘で、いくたびか立往生。飲料水もとつくになくなり、砂漠の湧水を求めたあけく、けだもの臭気のみみ込んだ水でやけたのをうるおすなど、悪戦苦闘をしながら、どもかく走り続けました。

一日平均10〜12時間走りでしたが、夜間走行中、疲労のためにかなり高い砂丘のてっぺんから墜落しかかり、間いつはつてまぬがれたなどということもありました。

旅の間は寝るといっても、砂の上に寝袋をおいて中にもぐり込むだけのことです。

両君もすいぶん心細い思いをしたことでしょうが、頼みの綱はヤマハのタフぶりでした。砂漠のあちらこちらに、そこでたおれた先人の墓碑をみながら、この異常な走行条件のもとを小さいヤマハは力強く走り続けたのです。

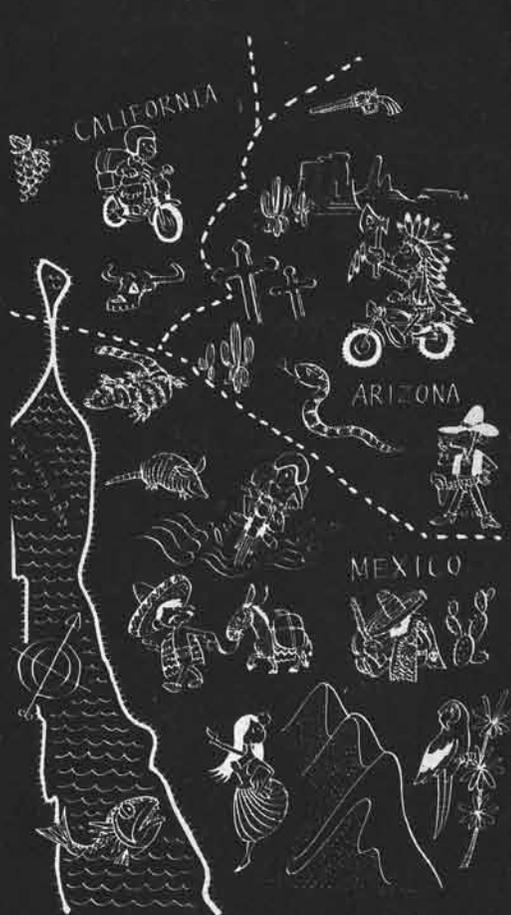
普通の道路では一ガロンあたり約百マイル走るヤマハの燃料消費量は、この条件のもとでは約六十五マイル、カロンと落ちましたが準備された燃料が尽きるまでに、国境のアリツナ州、リユークヒルに到着することが出来ました。

メキシコ最悪の道

苦勞したものの、とにかく難所を乗り切つてメキシコへ辿り着いた両君は、一路アリツエへと向いました。

砂漠縦断では、渴きにさんざん苦しめられた彼等も、皮肉にも今度は水がありすぎて困るという羽目になったのです。

途中の鉱山町カナネアからアリツェに至る約八十マイルの道は、川また川の連続という



状態でした。

もっともこれは言葉が通じないために、メキシコ人の救えがたがよののみこめなかつたせいかも知れません。

両君はほとんど十分間隔で川にぶつかり、日没までに実に四十四回も、ぬれぬれスミになつて渡り続けるという仕末でした。

ほとんど参り、根も尽きかけたころ、たまたまた車を通りかかったメキシコ人の医者話で、自分達の通つてきた道が、メキシコで最悪の道だということを知ったのです。

しかし、目指すアリツェはもう二時間の道程であること知り、元氣を取り戻してスタート。この水攻めにも小さなヤマハはさしたる影響を受けることなく、快調にゴールへと走り続けました。

見たこともない、精巧な日本製バイクの出現で、アリツェの子供達は大喜び。

保存されているド・アンツアの古い骨を見学してから、帰路につき、国境のピフシーからアリツェへ入りましたが、出発点のサン・ガブリエルに到着した時の走行距離は約二千マイル、三週間にわたる苦難の旅は終わったわけです。

苦しかったが、非常に好い経験になったので、絶対信頼のおけるヤマハのオートバイで必ず近いうちにもう一度この冒険ツーリングをやりたいというのが両君の感想でした。

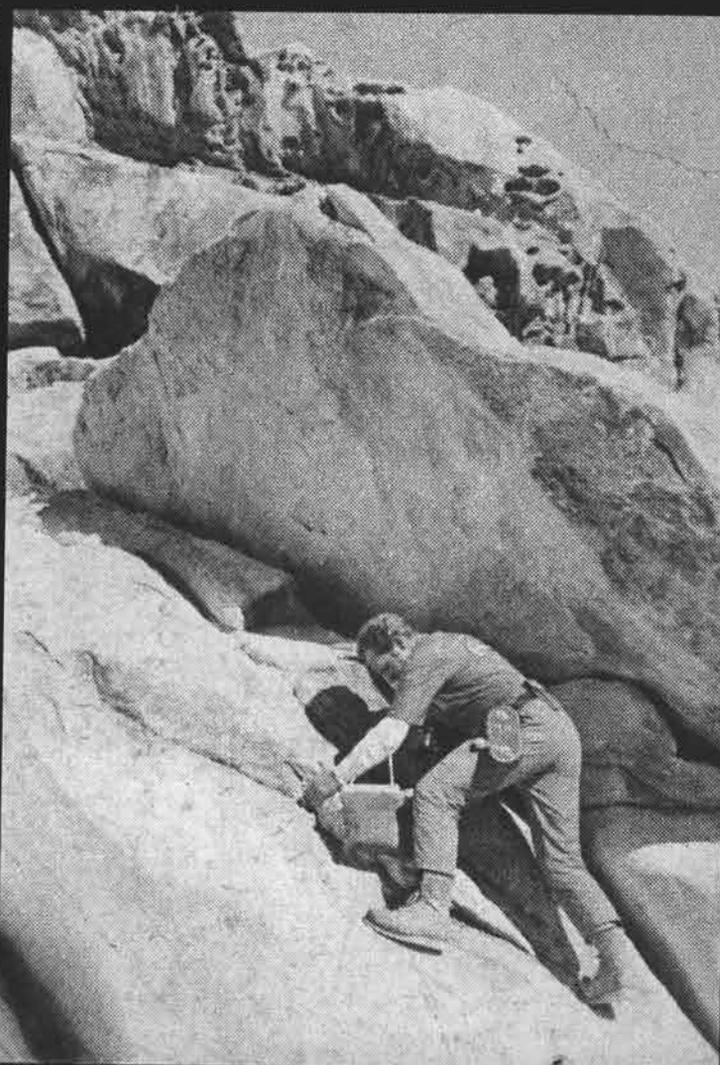


住みついた所

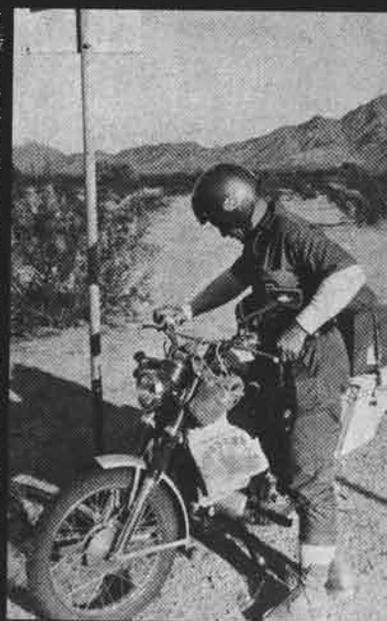
▶重裝備で広大な米国南西部の砂漠地帯を行くタフなヤマハ80



▶リトル・アトラス・タンクスで水を求めて苦闘中。ようやく採り求めた水も濁って飲めたものの臭いがしみ込んだものばかり



▶走破コースにサインポストはほとんど無い。写真は40年前に米国政府が建てたもの。



▶ヤマハとメキシコのカウボーイ



▲チューバックの遺跡（アリゾナ）ヨーロッパからの移住民が最初であり、ド・アンツァもここで生まれた。

RENDAI 愛車日記



PR



どんな商売にも宣伝が必要な時代です。宣伝用語の中で、非常に多く用いられているのが「PR」という言葉です。しかし、PRという言葉は使う人によって多少、ニュアンスがちがっているようです。「PR」とは、一般にいう「広告」と同じ意味ではなく、もっと広い内容を持っています。英語で「Public relation」といい、直訳すると「公衆に告げる」ということです。周知活動、広報事務とも訳されています。

PRとは、企業や政府とかが、一般大衆の信用と理解を得るために行なう諸活動のことです。ヤマハフレンド店の場合でしたら、お客さんやお店の従業員もPRの対象になります。しかもPRとは、外部に向って意志を伝達するだけのものではなく、内部的にも自己を分析し、悪いところがあれば直すという要素も含まれています。PRという言葉はアメリカで誕生し、日本にも「新しい経営哲学もしくは技術」として導入され、企業の対外的な意思の伝達活動にも大きな影響を与えてきました。

広告の方法にもPRがさかんにとり入れられています。例えば、会社の方針や業績を宣伝することによって、多くの人に会社のことを理解してもらい、結果的には広告効果をあげるのもPR広告の一種といえます。あるいは、映画とか雑誌などをつうじて、なにげなく商品が画面や誌面にのるような、広告ではない宣伝活動もPR広告のひとつです。

コトワザあれこれ



四月といえば花見。花にちなんだ言葉といえば、すぐに出てくるのが、「花より団子」風流よりも実質をとれという意味です。色気よりも喰い気といったところでしょうか。「酒なくて何の己が桜かな」も、これと似たことわざです。

「桜は七日」「花に嵐」というように、桜の季節はまったく短いもの。「明日ありと思う心の仇桜」です。お客さんを訪問するのが面倒だから明日にしよう、などといったっているうちに、よそのお店に先手を打たれてしまうというように意味です。まったく、「月に雲雲、花に風」よいことには邪魔が入りやすいものです。桜三月、菫満は五月

というとおり、見ごろを忘れると、折角の花見も台なし。オートバイの販促シーズンは長いですが、やはりタイミングは大切です。

「綺麗な花は山に咲く」とは、人の気づかないところによいお客さんがいるのだと解釈してよいでしょう。

「花は山、人は里」花は深山で美しいがお客さんをさがすには里へ出て訪問販売をしなければいけないということでしょう。「花は花に顕わる」というように、ふだんはなんの木かわからなくても、なにかのさいに実力があらわれるものです。

「花は桜木、人は武士」は、いずれも最高のものをあらわしたものです。現代風になおせば「花は桜木、車はヤマハ」になるでしょうか。ヤマハを売って、お客さんの信頼とお店の利益を同時に得れば、それこそ「両手に花」「梅と桜を両手に持つ」心境です。

☆四月中旬の十日に心なしに雇われる。四月中旬は日が長いので、思いやりのない人に雇われると苦勞する。

ヤマハ(消防)

赤バイ隊

滋賀県・草津市消防本部に配属

「火の用心」こちらは草津消防本部防火パトロールです。夕方から南風が強くなりますから、火元に十分ご注意ください。

こんどこの草津市で新しい事業を始める町の篤志家（滋賀県高島郡マキノ町 金子祐三さん）から寄贈されたヤマハの赤バイ2台は、正式発足を前に早くも活動を開始。市民に大きな安心感を与えながら駆けまわっている。





▲「もっとムネを張って！ ヒザを締めつける！」
先輩隊員のはげしい声が残雪の運動場にひびきわたる



▲ヤマハ赤バイの寄贈式には井上署長以下隊員が出席
神主さんのおはらいをうけて 安全運転を祈願した



▲大型消火器 2本
サイレン兼用の拡声装置 1組
赤ランプ 2個 初期消火作業

はもちろん
火事場の整理 伝令な
どに活躍する赤バイの装置

びわ湖南岸にひろがる草津市は、人口約4万2千、戸数9千8百、火災発生件数も年間30件程度の静かな町であった。ところが、名神が通り、1号線がますます混んでくるにしたがって、道路上の車両火災に対する初期消火作業が困難になってきた。

そこで、さうそうと登場してきたのが、わがヤマハ赤バイ消防隊である。真赤に塗りあげられた250cc D S 5—Eには、大型粉末消火器が2本、マイク、スピーカー、サイレンなどが組みこまれ、近く無線も装備される予定。

すわ火災発生！のときは、車両、家屋をとわず、俊敏な出足と軽快な操縦性を利して、第一番に現場へかけつける。車両火災なら搭載消火器で十分。大規模なものなら状況を確認して本部へ報告するとともに、附近の交通を整理して後続ポンプ車の到着を容易ならしめる。もちろん必要あるときは機敏な救急活動を開始する。

赤バイ隊の正式発足は四月一日。それまでには全職員（22名）が即時に出勤できるよう、白バイ隊員なみの運転技術をめざして特訓中である。また平常は、防火パトロールや連絡にも使用するので、市民に親しまれるような愛称を、署内で大懸賞つき募集中でもある。



▲ここが成功すれば 全国にヤマハ赤バイ隊がそくそく誕生する機運もあるので 納入した大洋自動車さんでも 巡回サービス班を派遣して 常時カンペキな出動態勢にあるよう とくに念入りな点検調整を行なっている

ヤマハは
あらゆるお客さまの
ご要望を満足させる
魅力のシリーズを完成しました。

ヤマハだけの
ワイルド・マシン
ヤマハ
トレールシリーズ



ヤマハ Trail 150F5-C

最高出力5ps/8,500r.p.m. 最高速度80km/h
最大トルク0.45kg-m/7,500r.p.m. 登坂力18°
現金正価 ¥ 63,000



ヤマハ Trail 190H3-C

登坂力23° 最大トルク0.9kg-m/5,000r.p.m.
最高速度99km/h 最高出力8.0ps/7,000r.p.m.
現金正価 ¥ 77,000



ヤマハ Trail 125 AT1

登坂力30° 最大トルク1.17kg-m/6,000r.p.m.
最高速度105km/h 最高出力11.5ps/7,500r.p.m.
現金正価 ¥ 145,000



ヤマハ Trail 250DT1

登坂力35° 最大トルク2.32kg-m/5,000r.p.m.
最高速度120km/h 最高出力18.5ps/6,000r.p.m.
現金正価 ¥ 193,000

春の増売は
ヤマハが
決め手です

ダイナミック・
ライディングを楽しむ
ヤマハ
スクランブラー
シリーズ



ヤマハスクランブラー125AS1-C

登坂力23.5° 最大トルク1.30kg-m/7,500r.p.m.
最高速度125km/h 最高出力13.8ps/8,000r.p.m.
現金正価 ¥ 139,800



ヤマハスクランブラー250DS6-C

登坂力25° 最大トルク2.92kg-m/7,000r.p.m.
最高速度150km/h 最高出力30ps/7,500r.p.m.
現金正価 ¥ 189,000



ヤマハスクランブラー350R3-C

登坂力27° 最大トルク3.87kg-m/6,000r.p.m.
最高速度168km/h 最高出力36ps/7,000r.p.m.
現金正価 ¥ 230,000

性能で差をつける
男のクルマ
ヤマハ
スポーツシリーズ



ヤマハスポーツ750F5-S

最高出力5ps/8,500r.p.m. 最高速度83km/h
最大トルク0.45kg-m/7,500r.p.m. 登坂力18°
現金正価 ¥ 63,000 ¥ 62,000(ヤマハブラック)



ヤマハスポーツ90HS1

最高出力10.5ps/8,000r.p.m. 0-400M 18.9sec.
最高速度110km/h 最大トルク0.96kg-m/7,500r.p.m.
現金正価 ¥ 87,000



ヤマハスポーツ125AS1デラックス

最高出力15ps/8,500r.p.m. 0-400M 17.5sec.
最高速度130km/h 最大トルク1.3kg-m/8,000r.p.m.
現金正価 ¥ 137,000 ¥ 135,000(カスタム)



ヤマハスポーツ180CS2-E

最高出力21ps/7,500r.p.m. 0-400M 16.3sec.
最高速度140km/h 最大トルク2.05kg-m/7,000r.p.m.
現金正価 ¥ 169,000



ヤマハスポーツ250DS6

最高出力30ps/7,500r.p.m. 0-400M 15.0sec.
最高速度160km/h 最大トルク2.92kg-m/7,000r.p.m.
現金正価 ¥ 187,000



ヤマハスポーツ305M2

最高出力31ps/7,000r.p.m. 0-400M 14.7sec.
最高速度165km/h 最大トルク3.2kg-m/6,500r.p.m.
現金正価 ¥ 195,000



ヤマハスポーツ350R3

最高出力36ps/7,000r.p.m. 0-400M 13.8sec.
最高速度173km/h 最大トルク3.87kg-m/6,000r.p.m.
現金正価 ¥ 228,000

ムダをなくして
大きく働く
ヤマハ
ビジネスシリーズ



ヤマハ150F5 F5-E

最高出力4.8ps/7,000r.p.m. 最高速度80km/h
最大トルク0.52kg-m/6,000r.p.m. 登坂力18°
現金正価 ¥ 60,000 F5-E ¥ 69,000(セル付)



ヤマハ160J5

最高出力7.5ps/7,000r.p.m. 最高速度83km/h
最大トルク0.57kg-m/6,000r.p.m. 登坂力19°
現金正価 ¥ 64,000



ヤマハ180G5

最高出力6.7ps/7,500r.p.m. 最高速度90km/h
最大トルク0.72kg-m/6,000r.p.m. 登坂力20°
現金正価 ¥ 71,000



ヤマハ190H3 H3-E

最高出力8ps/7,000r.p.m. 最高速度100km/h
最大トルク0.85kg-m/5,000r.p.m. 登坂力22°
現金正価 ¥ 75,000 H3-E ¥ 80,000(セル付)



ヤマハオートヘルプサイ90 AT90

最高出力8.2ps/8,000r.p.m. 最高速度100km/h
最大トルク0.75kg-m/7,500r.p.m. 登坂力20°
現金正価 ¥ 83,000(黒) ¥ 88,000(セル付) ¥ 84,000(赤)



ヤマハ125A7

最高出力11ps/6,700r.p.m. 最高速度110km/h
最大トルク1.25kg-m/5,000r.p.m. 登坂力20°
現金正価 ¥ 135,000

高品質・高性能
ヤマハオートバイ

一家に一台
だれもが乗れる
ヤマハ
メイトシリーズ



ヤマハメイト150U5D

最高出力4.5ps/6,500r.p.m. 最高速度70km/h
最大トルク0.52kg-m/5,000r.p.m. 登坂力18°
現金正価 ¥ 57,000



ヤマハメイト150USE(セル付)

最高出力4.5ps/6,500r.p.m. 最高速度70km/h
最大トルク0.52kg-m/5,000r.p.m. 登坂力18°
現金正価 ¥ 64,000



ヤマハメイト170U7

最高出力6.2ps/7,000r.p.m. 最高速度85km/h
最大トルク0.7kg-m/4,500r.p.m. 登坂力20°
現金正価 ¥ 63,000



ヤマハメイト170U7E(セル付)

最高出力6.2ps/7,000r.p.m. 最高速度85km/h
最大トルク0.7kg-m/4,500r.p.m. 登坂力20°
現金正価 ¥ 70,000

わたしもスポーツ・クラブ員

長野県松本市・古田商店 古田 詔一さん

お客さんとともにモータースポーツを楽しむ
古田さん（右から2人目）



北アルプスのふもと、長野県松本市を根拠地とする松本スネルクラブ恒例のラリーには、毎年六、七十人の参加者があります。ひとつのクラブが主催するラリー競技に、これだけ多数の同好の士が集まる例は、ほかには見当りません。

正規のクラブ員は二十人。オートバイの楽しさと交通安全の精神をわきまえたベテランぞろいです。

ラリーやツーリングなど、だれでも参加できるモータースポーツをつうじて、オートバイの乗り方、楽しみ方を指導していくグループです。

このメンバーの中には、市内のヤマハフレンド店、古田商会の古田詔一さん、窪田オートの窪田実さん、三沢モータースの三沢勝次さんも加わっています。明日の業界をになうフレンド店経営者の二世たちです。

古田詔一さん（31才）も十年前、松本スネルクラブが発足したときのメンバーの一員です。当時、赤トンボ（ヤマハ第一号車125YA1）でクラブに参加した古田さんは、いまではヤマハスポーツ350R1とヤマハトリール250DT1を愛用しています。

「クラブ員の平均年齢は、二十四、五才です。四十代の人もありますよ。会長は降旗さんといつて、塩尻高校の先生です。われわれはオートバイの販売店をやっていますが、商売をはなれて、参加しているんです。でも、自分たちが入っている関係からか、ヤマハに乗っている人が多いですね」一人のモータースポーツ愛好者として、お客さんと楽しむ古田さんたちです。

松本スネルクラブはモータースポーツファンを正しく指導する役割を果たしています。だから古田さんはいいます「トレール教室にしても、一部のマニアのものにならないで、だれでも気軽に参加できるものであってほしいですね」。

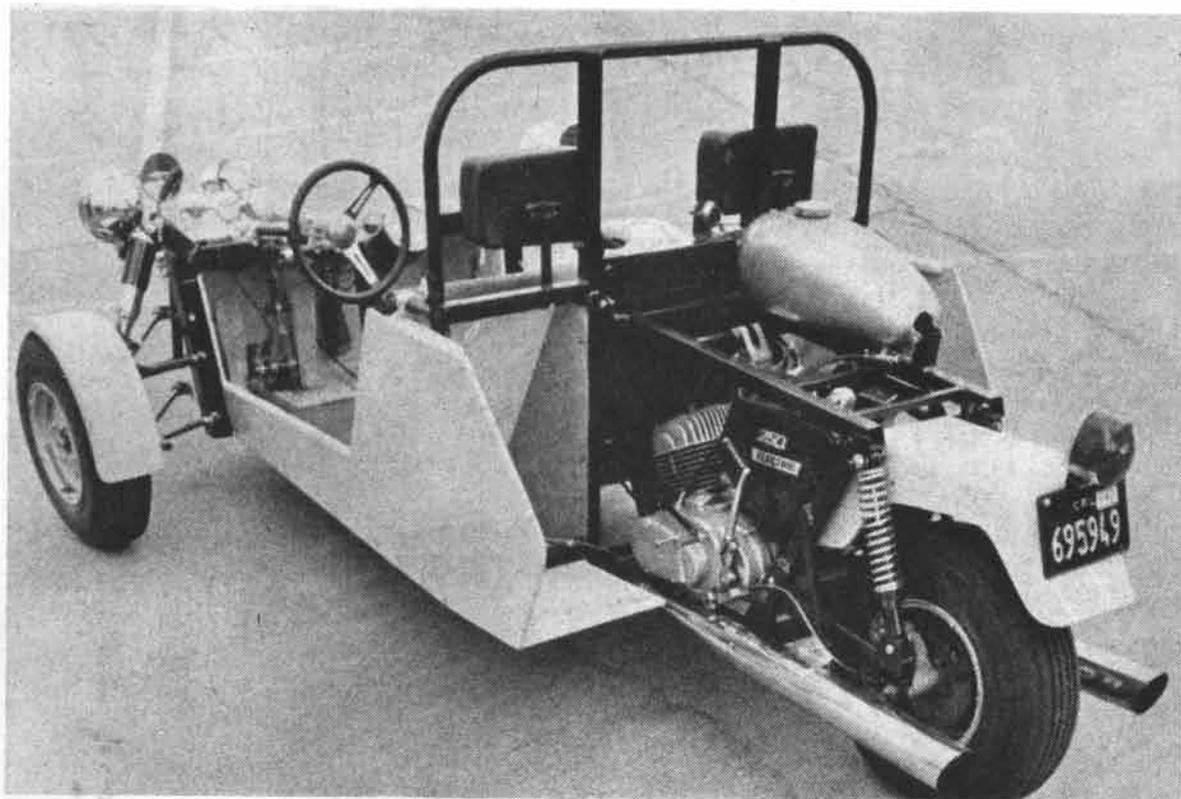


ヤマハに乗って若返り 86才。"車が生きがいじや"

わが国でも、ヤマハメイトやヤマハスポーツを愛用する高年齢のお客様がかなり多く、オートバイが安全な乗り物であることをうらづけていますが、イギリスのRoad公園で働くビル・オズレイさんは、なんと八十六才。「車がワシの生きがいじや。ほら見なさい、

車に乗っていると若返るわ」と、毎日、ヤマハスポーツを乗り回わっています。オズレイさんが、はじめてオートバイレースに出場したのが、なんと一九一五年だったというから、モーターサイクルファンにとつては、たいへんな大先輩です。

ヤマハ・サイクルカー



オートバイと自動車のあいこのようなサイクルカーが、アメリカで結構人気を呼んでいます。写真のサイクルカーはミニKと名付けられ、アメリカ・パーバンクのマニアが設計、製作したものです。

ヤマハ二五〇ccツインの出力装置がそっくり活用されていますが、性能はオリジナル性能の八十五パーセントと、なかなかの好成績です。

奥さま交えフレンド店総会



ヤマハ発動機大阪東営業所ではこのほど鳥羽国際ホテルで、ヤマハフレンド店総会を開きました。総会には五十店以上が参加、業界の分析や今後の躍進のための対策などを協議したあと、優良販売店十店の表彰式が行なわれました。懇親パーティーではフレンド店の奥さまが歌や踊りを披露されるなど、なごやかでした。

カナダの チャンピオン スノーモビルでも 活躍！

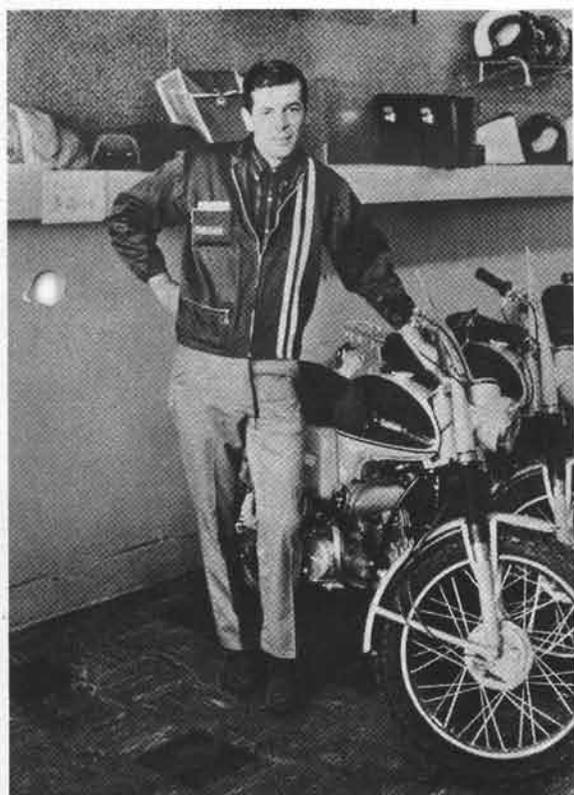
雪の多いカナダでは、この冬ウインタースポーツのニューフェースとして雪上車が特に注目を浴びてはやりましたが、なかでもヤマハスノーモビルの人気が抜群です。写真はカナダモーターサイクルスポーツ界のエース、イボン・デユファメール選手ですが、モーターサイクルスポーツのシーズンオフにはスノーモビルのレースに参加して大活躍したそうです。



清潔・整頓のカナダの販売店

「清潔できちんと」（ニート・アンド・タイデイ）というのが、ヤマハディーラーのモットーですが、写真はこのモットーのモデル店の一つ、カナダエドモントンのN・

グリーンさんの店です。このところオートバイ、スノーモビルの売行きは上々ですが、店のディスプレイの優秀さがお客様の購買欲を大いにそそるのです。



ヤマハ釣舟に人気集中！

盛況の釣用品見本市

東京釣用品見本市が二月二十四日から四日間にわたって、大手町の東京産業会館で開かれました。六階会場の半分近くを占めたヤマハ発動機コーナーでは、話題のニューボート、トリマラン14カスタムをはじめ、フィッシュヤーマン12、ローボート、そしてヤマハ和

船W-18の釣舟と、ヤマハ船外機各種を展示しました。ボート釣りの時代の到来とタイミングが合って、ヤマハ釣舟はたいへんな人気を集めました。なお釣用品見本市は、大阪を皮切りに、各地で開かれているものです。



アルプス山麓で活躍する 電力会社のヤマハ

南アルプス連峰と、舟下りで有名な天龍川にはさまれた長野県飯田市では、中部電力飯田支社、東海電気工事、飯田電報電話局をはじめ、ヤマハオートバイの大口ユーザーがふえています。

中部電力飯田支社管内で働くヤマハは七十八台。現場で働く人びとにも好評なことから、ヤマハの比重がまわっていったものです。

庶務課の長尾主任は「オートバイの用途は非常に広く、補修、修

理、引き込み線の回収、送電線の巡視、業務連絡、作業現場への急行などに使っています」

車両管理者の中越さんは「サービスマンが非常によいのがヤマハの魅力です。修繕費もかかりませんね。うちではすべての活動で安全性を重視しています」と語っています。

現場で活躍するのは、すべて一・二五ccクラスですが、メイトも市内の特別集金や銀行、郵便局への往復などに使われています。

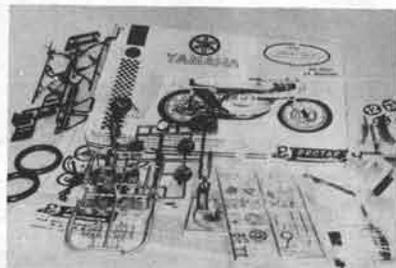


「さあ、工事現場へ直行だ！」中部電力飯田支社で活躍するヤマハ

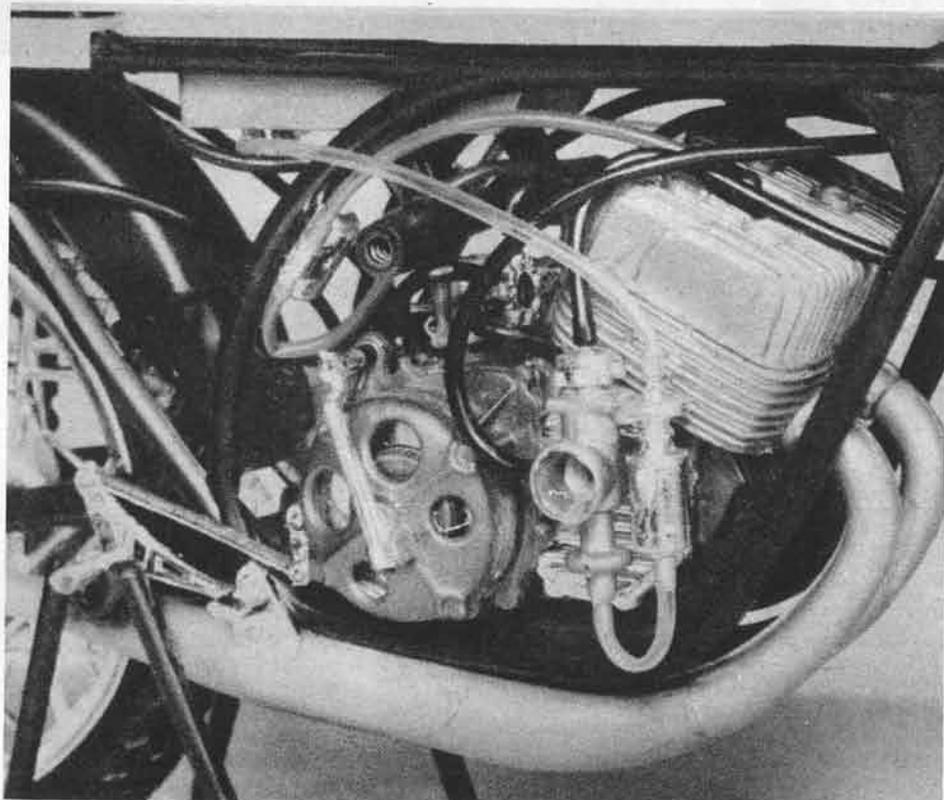
プラモデルでもピカーのヤマハ

以前にもちよつと紹介したことのあるイタリア製のプラモデル、ヤマハ二気筒二五〇cc工場レーサーの人氣は素晴らしく、たちまちピカ一的存在になりました。

写真は実物と寸分違わないケスケールのモデルです。64、65年と連続してタイトルを獲得した、この2ストロークの傑作レーサーの実際を見る機会があまりありませんが、このミニ・ヤマハはプラモデル界のチャンピオンとして今後もずっとファンを喜ばせるでしょう。



◀エンジンの細部まで精巧にできているプラモデル。





ルーム誕生!

色とりどりのヤマハ各車やオブションナルパーツ、用品類を一堂に集めた、すばらしいシヨールームが、長野県飯田市に誕生しました。



▲トレール教室の用品も、出窓を飾るイキなアクセサリ。



▲トレール教室のアルバムを店内に置いて、若い人たちの参加意欲をそそる。

YAMAHA



モデル・ショー



▲ステージ上の車には、すべてスペックボードをそえた親切的な展示方法。

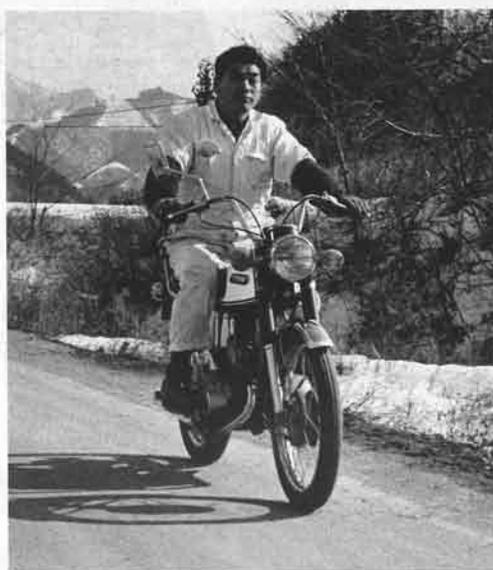
ヤマハ特約店の飯田モーター株式会社、約五十万円を投じて、整備工場をショールームに変貌させたものです。

「店舗づくりの参考にと、見にくる販売店さんがたくさんおられます。人手が足りないために積極的な訪問販売ができないならば、まず、お客さんをさそい込めるようなお店にしてほしいと、日ごろ販売店のみなさまに申し上げているんですが、ひとつの見本になればという考えもあって、改装したものです」

同社の平沢営業部長が語るように、このショールームの出現が刺激になって、店内の美化を真剣に検討するヤマハフレンド店のみなさんがふえました。

前面を絵ガラス張りにした美しいショールームは、道行く人びとの足をとめさせます。熱心にヤマハトレールやスポーツの説明を聞くマニアや高校生が、引きも切りません。PR効果も満点のショールームです。

●こんにちははヤマハです



2日つづきの展示即売会は成況裡におわった。つぎの日から増沢さんは、いつものように山奥へ訪問販売に出かけるのだった。



マを中心に、力強く誓う増沢さん一家と従業員の人たち。

市神さまも照覧あれ

創意と努力で大きく伸びる

長野県東筑摩郡四賀村 会田自動車工業

◇シーズンごとに展示即売会

その日、数百年来の伝統をもつ「アメ市」で、商店街はにぎわっていました。細工船、ブツカキ船、色とりどりの船・船・船を並べた屋台が立ちならぶ間を、浮き浮きとした表情の人びとが、肩をすり合わせながら練っています。

「こちらは会田自動車工業でございます。……」雑沓する人びとの耳に、突然、一台の宣伝カーから、コマリシヤルがとび込んできました。ヤマハフレンド店・会田自動車工業が、この好機をのがすまいと、展示即売会を開始したのです。

アメ市は、北アルプスにほど近い長野県東筑摩郡の四賀村にわたる行事で、商売の神「市神さま」の祭礼を祝して、毎年行なわれます。

昔は、越後の上杉謙信が、甲斐の武田信玄と敵対していたが、甲斐の国の人びとが塩不足に悩んでいたと知るや、早速、塩を送りとどけたという故事にちなんで、塩市が開かれていましたが、いつのころからか、アメ市に変わったのです。

◇外交販売十年で占拠率70%

四賀村会田新町のヤマハフレンド店・会田自動車工業は、個性あ

る増売のアイデアと、積極的な努力とで、お客さまをふやしてきたお店です。

経営者の増沢正俊さん（37才）が、この土地にお店を開いたのは、いまから九年前。同業社は六店もありました。

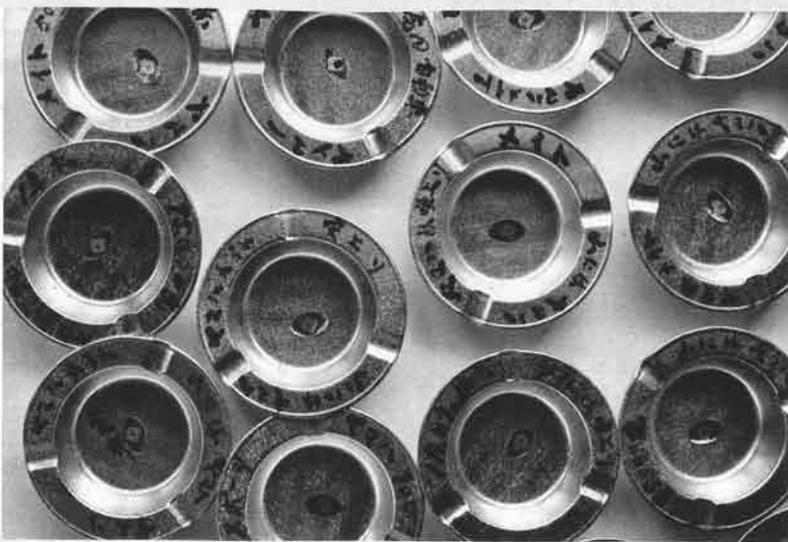
なんの地盤も持たなかった増沢さんが、お客さんを開拓していくには、たいへんな努力が必要でした。まず、ほかのお店があまり積極的に売り込みにくい山奥の部落から、足がかりをつくったのです。

「夜中の十二時までは、オレが自由に使っていい時間だ」増沢さんは、一年三百六十五日をつうじて、夜になるとセールスに出かけるのでした。帰りはもちろん、十二時近くになります。

増沢さんのこのフアイトは、いまでも変わりません。変わったのは、訪問販売の足が自転車からオートバイに、そして、いっお客さんがあってもいいように、商品のオートバイを積んだ四輪車になったことです。

いまでは、四賀村の千八百世帯のうち千二百世帯が会田自動車工業のお客さまになりました。もちろん、ヤマハオートバイの占拠率も七〇%。ところによって十台のうち九台までがヤマハです。

「あと650コだ、多忙な時間をさいて、灰皿ひとつひとつにヤマハオートバイのキャッチフレーズを書きつづける。」



信州自動車松本支店のセールスマンも応援にかけつけ、宣伝用のテープレコーダーと拡声器の取付けを手伝う。



アメ市が開かれる日、会田自動車工業の人たちは、展示即売会の準備に大わらわだった。



「さあ、この1年も頑張ろう！」アメ市で購入したダグ

◇お客さんの組織づくりに成功

会田自動車工業のお客さんは、遠いところでは二十キロもはなれています。しかもたいへんな山奥です。誠意と努力だけでは、たとえ増沢さんでも、これだけ実績を伸ばすことは不可能だったでしょう。

これをおぎなうのが、増沢さん独特の販促のアイデアです。

まず、お客さんの組織づくりに考えました。今日、ヤマハのお客さんは、ほとんどすべてが四賀村ヤマハ会の会員です。部落ごとにヤマハ会の支部が設けられていて、それぞれが自主的に新年会や遠乗会を開き、新しいお客さんをさそいます。こういう楽しい集いの仲間入りしたくて、ヤマハに乗りかえたお客さんもたくさんいます。ヤマハ会の人びとが新しいお客さんの情報を提供してくれたり、見込客さんのセールスの手助けをしてくれるわけです。

会田自動車工業は、オートバイに関してはヤマハ専売ですが、農機具、自転車、四輪車も扱い、ガソリンスタンドも置いています。交通が不便な山村であるという立地条件から、このような多角経営になったのですが、会田自動車工業の場合は、主力商品であるヤマハオートバイのお客さんをふやすために、いろいろの商品を活用してきたともいえます。

◇他商品のセールスマンも協力

増沢さんは、電機器具やミシンのセールスマン、保険と外交員と提携して、販売網の強化をはかっています。

増沢さん自身も、これらの商品の見込客を紹介してあげるかわりに、オートバイや農機具のお客さんを紹介してもらうわけです。このようにして、会田自動車工業の販売網、情報網はアミの目のように、全村を網らしています。

◇CM入りの灰皿を公民館に

販促用品の効果的な活用も増沢さんの得意とするところです。

四賀村には四十もの公民館が点在しています。これらの公民館のすべてに灰皿を贈ろうと増沢さんは考えたのです。

それも、ふつうの灰皿ではありません。

「メイトに乗れば安上り」とか「ヤマハH3、一年払いで〇〇円」とかいうキャッチフレーズを書きこむわけです。それぞれちがった文句が書かれているのですから、人目をひくことは受け合いです。

「公民館に人が集まったとき、二人に一口の割合で灰皿がゆきわたるようにと考えて、昨年から始めたのですが、文字を書き込むのが面倒で、まだ二百五十コしか贈っていないのです。今年中にあと六百五十コをと頑張っています。」

「ときどき、有線放送をつうじて、車の宣伝などをするんですが、灰皿を各公民館に贈るほうが、費用のわりには大きい効果が上げられると思いますね。」村の人びとからも喜ばれるし、一石二鳥のアイデアといえるでしょう。

ここ四賀村では、家族五人がそれぞれ一台づつヤマハを愛用している一家もあります。

七十歳をこえる村長さんも、助役さんもヤマハで元気に活躍しています。

こんなに少ない筈じゃ

なかつた？

★自動車専用道路を走れるオートバイすなわちエンジン排気量が125ccを越える二輪の自動車は全国でいったいどのくらいの数になるとお思いですか？……

〔運輸省〕このほど運輸省自動車局が集計した44年1月1日現在の二輪自動車の保有台数は、軽二輪が63万3千479台、小型二輪が7万5千309台の合計70万8千788台である。

「へえ、そんなポッチか」なんてお思いかもしれませんが、原付一種、二種の総計8百万台からくらべるとたしかに少ない数字です。しかし、免許が自動二輪、軽二輪の区別がなく、二輪免許一本立てになったことから小型二輪は増加の傾向を示しています。

ある専門紙では、本年は小型二輪はむしろ軽二輪においても昨年を上回る販売が予想され、シーズン到来の4月からは増加の一端をたどるとみていますが、二輪自動車と原付とを合わせても900万台ならず。まだ10人にひとりにはほど遠い勘定です。

一家に一台ヤマハハメイト、そしてヤマハに乗って安全運転でどんどんヤマハを増やしていきたいものです。

整備士の試験は

6月に施行

★あなたは整備士の免状をお持ちですか。まだでしたらこのチャンスに受験してみたいかがでしようか。

〔二輪車新聞〕運輸省ではこのほど自動車整備士技能検定試験要項を発表した。

これによると、技能検定試験を実施する自動車整備士の種類は、第一回が二級ガソリン自

動車、三級自動車シャシ、三級ガソリン自動車の各整備士である。

試験施行期日は、学科試験が6月8日で、実技試験は8月20日に行なわれる。この試験の技能検定申請書の受付期間は4月11日～25日までで、試験場所その他の必要な事項は試験期日の10日前までに各陸運局および陸運事務所に掲示される。なお第二回は11月に行なわれることになっている。(3月13日)

テアドロップ型

タンクは安全です



★ヤマハスポーツ、ヤマハトレールがとり入れたテアドロップ(水滴)型のガソリントタンクは、数かずのグッドデザイン賞に輝くヤマハのセンスをさらにみがき上げた結果、生まれた新しい時代のデザインですが、一方、乗る人の安全にとつても理想的な形状だと好評です。

〔モーターサイクリスト〕テアドロップと称するガソリントタンクについて、あるメーカーのモトクロスライダーは「ヤマハトレール250DT1がやはり、似たような形状になっていますが、モトクロスのような乗り方の場合、こんな形状のガソリントタンクでないといけないです。

例えばジャンプをするでしょう。あるいは急坂を登るでしょう。その時のライディングフォームを考えてごらん下さい。極端に言ったら尻はタンクの上へくるわけです。そうするとシートとガソリントタンクの間があたり、角が鋭角であつたりすると、上体の移動がスムーズにできないわけです。ですから私なんかは非常に良い傾向だと思いますね。ただ私の好みとしては、フーニーグリップは必要

ないんじゃないですか。

この車は市販車ですから、道を走るわけですが、もし衝突なんかしても、身体の一部を打ちつける率は少ないですね。安全でいいんじゃないですか」と、すなおに受入れている。(3月号)

赤いガソリンに赤信号

★大阪の印刷工場でインキの洗い落しにガソリンを使っていた工員たちが死亡、発狂する事件が起きたことを重視した労働省では、「赤く着色したガソリンは人体に非常に危険なので、取扱いはくれぐれ注意を」と、警告しています。ガソリンを取扱う機会の多いみなさんは、くれぐれもご注意ください。

〔朝日新聞〕町のガソリンスタンドがふえ、赤いガソリンが生活に間近なものとなつていくが、危険さを知っている人は案外少ないようだ。それだけに、この有毒ガソリンが新しい公害のタネになる可能性も強い。と同省は指摘している。

有毒ガソリンの毒性は、ガソリンに混入された四アルキル鉛のためだ。自動車や航空機の燃料として効率を高める目的で入れたものだが、とくに「ハイオクタン価ガソリン」には添加量も多い。

ところが、この四アルキル鉛は、たいへんな猛毒を持ち、一リットルほどが飛散して人体にふれただけでも百人は死亡するといわれるほど。また、その蒸気を吸っても中毒を起す。少量で脳や肝臓、じん臓などが中毒におかされ、けいれん、ふるえ、幻覚、記憶障害などの症状が出て、発狂したりする。

しかし、こうした毒性は一般にはあまり知られておらず、印刷業や自動車整備業などでは加鉛ガソリンがインキ、油を洗い落す洗浄剤として使われることもあるという。

労働省では、警告の中で、このような猛毒



のはいつたガソリンは、自動車の燃料として以外には使われないよう呼びかけている。また、マイカー族などが車にガソリンを入れるさい、ガソリンかんにホースを突込み、その端を口で吸ったりすることがあるが、こんな危険なことはない、と指摘している。

さらに印刷業や自動車整備業などインキや油によごれる仕事をする人も、洗浄用には必ず着色していない無鉛ガソリンや灯油などを使用し、やむをえず加鉛ガソリンを使うときは手袋をはめるなどの防護措置をとるよう訴えている。

また、無鉛ガソリンを置いていないガソリンスタンドもあるので、石油業界にどのスタンドでも無鉛ガソリンが買えるよう手配を要請した。

オートバイドロ、年に二万五千件

★春の行楽シーズンは、オートバイや自動車の盗難事件が多い季節です。桜の下に車を置いて、花やカワイコちゃんにみとれているうちに、愛車が忍術を使つたように消えてしまったなんてことも起りがちです。

〔警察庁〕四十二年中、全国で発生した自動車盗難は、届出のあつたものだけでも三万五千七百七十九台、三十三年同期にくらべるとざつと五倍にも達しており、オートバイの年間二万四千五百六台を加えると、その数は約六万台にも達している。

ここ数年、窃盗事件そのものは減る傾向になつてはいるのに対して、オートバイを含む自動車盗難だけは激増の傾向を強めている。

自動車窃盗の口をみると、ついでに多いのは鍵のかけ忘れで四六・一%。ついでに多いのは三九・八%。オートバイの盗難の原因は圧

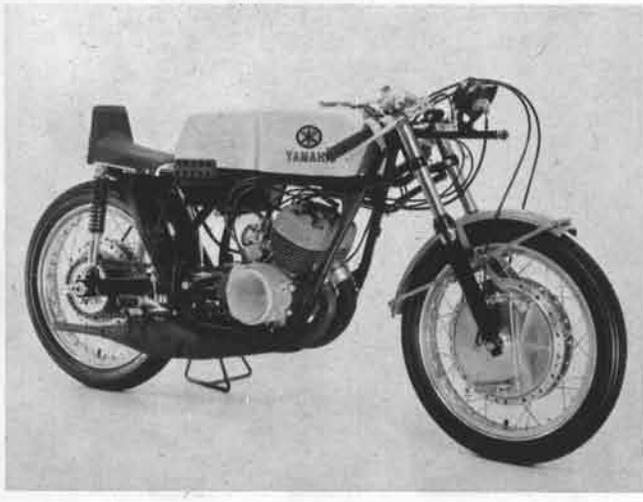
倒的に鍵のかけ忘れが多い。

盗難場所は人気のない住宅街の裏通り四八・七%はともかく、にぎやかな商店街においても三一・六%の車が盗難にあつてはいるほか、駐車場でまんまと盗まれたというケースが五%もあつた。

盗難車の発見率は意外と悪く、乗用車で四〇%、オートバイでは三五%という低調さが、オートバイにおいては、とくに車の届出制度に問題の多い原付車の発見がきわめて悪い。原付車の場合、ほとんど売り払われているケースが多い。

TD2の登場も話題のマト

★本誌2月号で英紙にとりあげられたヤマハ350ccの市販レーサーを紹介しましたが、市販レーサーといえはこの数年来、世界各地でピカ一の成績をあげているヤマハ250TD1の新型TD2の登場がまた新たなセンセーションをまきおこしています。



〔モーターサイクル〕ヤマハの新しい250cc市販レーサーはTD2と称され、ツイン型で5ポルトが採用されているのはTD1-Cと同じであるが、出力は44馬力で、TD1-Cよりも5馬力も強力である。そしてフレームはまったく一新されてデュアルプレックス型となり、一見したところP・リードやB・アイビ

ーが乗った125cc4気筒のワークス・マシンのものとよく似ている。

トップ・スピードは24キロ/時以上といわれ、TD1-Cよりもさらに強力な驚異の新型レーサーである。

2輪、4輪、レースの話題

★シーズン到来で、各地でいろいろな催し物が行なわれ、また計画されています。

〔JAF（日本自動車連盟）〕JAF主催の69グランプリレースは5月3日、静岡県小山町の富士スピードウェイで開かれる。

このグランプリレースは、JAFがこれまで毎年5月に開催してきたものをことしから5月と10月に分け、5月はJAFグランプリ、10月は日本グランプリとしたもの。

JAFグランプリのレース内容は日本では初めての国際フォーミュラレースで、葉巻型のボディにむきだしホイールをつけたマシンが登場する。

〔MFJ（日本モーターサイクル協会）〕MFJでは今年度の第6回モトクロス日本グランプリ大会を、5月17、18日の両日にわたり九州で開催することに決めた。

今回のレースでとくに目新しい点は注目のセニア部門250ccクラスに2ヒート・システムを採用することで、1ヒート45分プラス2週のラップを2回くり返して、その総合成績で優勝者を決める。

★オプションパーツ・コーナー

ヤマハ AT90



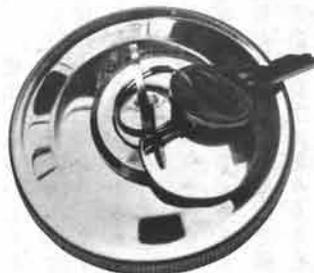
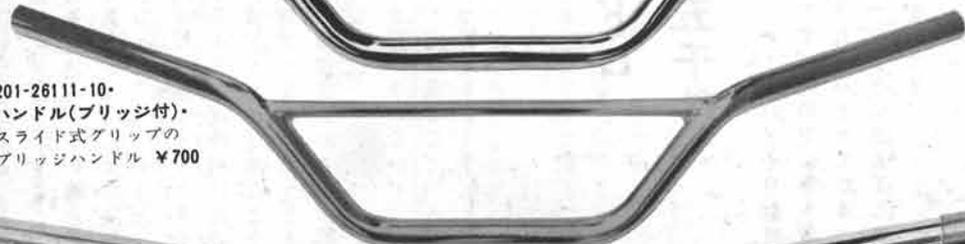
ヤマハAT90。グッドデザイン賞受賞のこのスタイルをさらにシャープに変えられます。

世界ではじめての90ccツインとして話題を呼んだヤマハAT90は、高速型のビジネスタイプとして根強い需要を持っています。このAT90が、わずかのオプションパーツで、立派なスポーツ車に生まれ変わります。もともと強力なオートループ・ツインエンジンを備えているからです。

212-26111-00・ハンドル(ブリッジ付)・巻取式グリップ用 ¥700

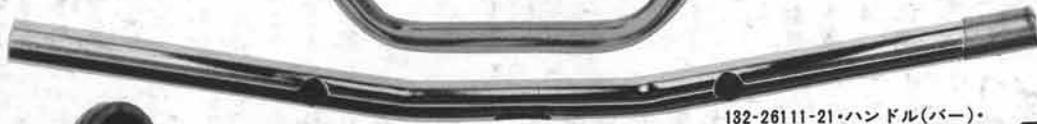


201-26111-10・ハンドル(ブリッジ付)・スライド式グリップのブリッジハンドル ¥700

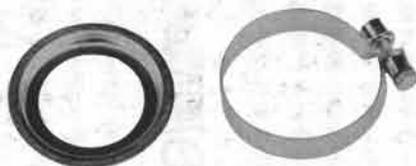
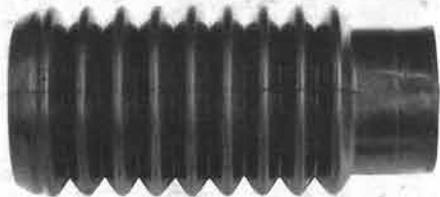


127-24650-00 ¥650
ロックキー付タンクキャップ
駐車しても安心。錠付キャップ

132-26111-21・ハンドル(バー)・巻取式グリップ用 ¥850



122-17461-50 ¥300
15Tスプロケットドライブ
(他に13Tも有ります)



129-23191-00・ブーツ
129-23192-00・バンドブーツ } セット ¥260
129-23193-00・ガイドブーツ }
より精悍なブーツタイプフォークに



134-18541-62・カムシフト
93605-20048・ピン・ダウエル
ロータリー式からリターン式に ¥680

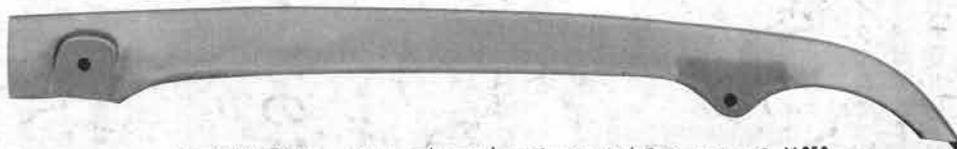


193-21787-00・エンブレムチェッカーフラッグ
(シルバー) ¥180



218-21787-00・エンブレムチェッカーフラッグ
(黄色) ¥180

130-22210-00
リヤクッション
アセンブリ
ストリップ・
タイプ ¥1,600



128-22311-00・チェーンケース(ハーフ) スポーツイにするハーフケース ¥250

静岡県漁業取締船 「天龍丸」進水!



静岡県漁業取締船「天龍丸」

●船体主要寸法

船質船型 FRPV型ハードチャイン船型
主要寸法 全長 15.5m
全巾 4.1m 深さ 2.0m
総トン数 27トン

●主機関性能等

主機関型式 GM(米国製)船用高速ディーゼル
基数 2 最高出力 320PS×2
最高速力 20ノット 巡航速力 18ノット
航続距離 250浬

●装備

レーダー (0.5~32浬映像)
魚群探知器 (記録式50Kc、測深範囲0~600m)
気象観測器 (風向、風力計、気圧計等)
無線 漁労装置 他

海を守るヤマハ業務艇

ローボートから大型クルーザーまで、はなやかにラインアップしたヤマハボートは、水辺のレジャーの花形ですが、FRP新船材の長所が認められて、業務用大型艇の特注も活発です。日本最大のFRP鯖漁船(16.5m)をはじめ、水産庁漁業指導船、海上保安庁灯台巡視船、民間の高速観光船など、各方面でヤマハ業務艇は活躍しています。このほど進水式をおえた静岡県漁業取締船「天龍丸」も、水産物の保護、密漁の取締りにと、県の沿岸海域を走りまわります。

楽しみながら
安全運転の基本と
トレール走行が学べる



ゆかいな トレール教室

全国各地で実施中

